

2026 年 9 月 30 日

各 位

会 社 名 NISSHA 株式会社
代表者名 代表取締役社長 最高経営責任者 鈴木順也
(コード番号 7915 東証プライム市場)
問合せ先 取締役専務執行役員 最高財務責任者 井ノ上大輔
(TEL. 075-811-8111)

第 2 四半期(中間期)連結業績予想との差異および
通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2026 年 5 月 12 日に公表いたしました 2026 年 12 月期第 2 四半期(中間期)連結累計期間(2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)の業績予想と実績との差異および 2026 年 12 月期通期(2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日)の連結業績予想の修正について、お知らせいたします。

記

1. 2026 年 12 月期第 2 四半期(中間期)連結業績予想数値との差異(2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 中間利益	基本的 1 株当たり 中間利益
前回発表予想(A)	百万円 94,000	百万円 1,800	百万円 1,300	百万円 300	円 銭 6.33
実績値(B)	96,033	△4,500	△4,806	△5,473	△115.44
増 減 額(B-A)	2,033	△6,300	△6,106	△5,773	
増 減 率(%)	2.2%	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期 実績(2025 年 12 月期第 2 四半期(中間期))(注)	97,049	2,558	1,092	20	0.44

(注)2025 年 12 月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025 年 12 月期第 2 四半期(中間期)の関連する数値について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

差異が生じた理由

売上高は、産業資材およびメディカルにおいて製品需要が堅調に推移し、前回予想を上回りました。営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する中間利益は、2026 年 9 月 30 日付け「減損損失(連結決算)および関係会社株式評価損(個別決算)の計上に関するお知らせ」の通り、USM HEALTHCARE MEDICAL DEVICES FACTORY JOINT STOCK COMPANY ののれん減損損失により、前回予想を下回りました。

2. 2026 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正(2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的 1 株当たり 当期利益
前回発表予想(A)	百万円 198,000	百万円 7,000	百万円 5,700	百万円 3,200	円 銭 67.49
今回修正予想(B)	195,000	△3,300	△4,400	△6,200	△130.68
増 減 額(B-A)	△3,000	△10,300	△10,100	△9,400	
増 減 率(%)	△1.5%	－	－	－	
(ご参考) 前期実績 (2025 年 12 月期)	194,898	4,040	3,551	1,001	21.13

修正の理由

通期の業績予想につきまして、当第 2 四半期(中間期)連結累計期間の実績を踏まえたうえで、最新の製品需要や為替の動向などを考慮しました。

売上高は、デバイスのタブレット向けで下半期に見込んでいた需要の改善が見込めないことから、前回想定を下回る見通しです。営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益は、第 2 四半期(中間期)連結累計期間に計上したのれんの減損損失に加え、需要動向の影響、産業資材の加飾分野における生産関連費用などにより、前回想定を下回る見通しです。

なお、為替レートは 1ドル＝155 円(前回予想 150 円)を前提としています。

以 上